

## 4.5. ユーザー自身の調整

GMDH Streamlineでは、次のユーザー自身の調整ができます。:

- **4.5.1. 統計的予測の調整**。販売履歴の需要パターンとして現れない販売促進や処分セールや他のイベント考慮する必要があるときに□GMDH Streamlineの予測値を調整できます。
- **4.5.2. 予測モデルの調整**。ユーザーは、GMDH Streamlineが作成したモデルの微調整ができます。微調整とは、モデルの変更、モデルの係数の変更、予測値の増減です。
- **4.5.3. What-if 売上分析の実行**。この分析では、販売価格変更に基づくWhat-Ifシミュレーションができます。
- **4.5.4. 履歴データ修正**□GMDH Streamlineの特徴的な機能の1つに、ユーザーによる履歴データ変更機能があります。販売履歴、または手持ち在庫履歴に異常データがあるときに、プログラム上でこれらを正しく修正できます<sup>1)</sup>□

背景が黄色いセルは、どこでも編集できます。

2016年11月	2016年12月	2017年1月	2017年2月	2017年3月
150	177			
109	181	95	78	86
		85		70
14.96	15.95	15.95	17.00	17.00
2244.00	2823.15	1355.75	1326.00	1190.00
180	266			
0	2			
		181	103	160
		0	0	127

ユーザーが編集したセルは、簡単に元の値に戻すことができます。対象セルを空欄後に、**Enter**を入力します。編集前のセルは黒文字で表示され、ユーザー編集後のセルは青文字で表示されるため、編集前後を見分けることができます。

次へ: 予測調整

PDFダウンロード

<sup>1)</sup>

翻訳者注釈: データソース内の履歴データは変更されず、インポート後の履歴データのみ変更されます。

From:  
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - GMDH Streamline Docs  
 Permanent link:  
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:manual-adjustments>  
 Last update: 2020/09/27 08:36



